

高等教育研究開発推進センター日誌

(2014年4月1日～2015年3月31日)

年 月 日	記 事
2014. 4. 3	文学研究科プレFDプロジェクト事前研修会
4. 9	高等教育研究開発推進センター運営会議 (平成26年度第1回)
4.14	関西地区FD連絡協議会第9回幹事会
4.16	高等教育研究開発推進センター運営委員会 (平成26年度第1回)
4.23	FD研究検討委員会 (第15回)
5.14	高等教育研究開発推進センター運営会議 (平成26年度第2回) 高等教育研究開発推進センター運営委員会 (平成26年度第2回)
5.17	<p>関西地区FD連絡協議会 第7回総会 場所：京都大学百周年時計台記念館 プログラム： 基調講演 「FDの現状と課題について」 里見 朋香 (文部科学省高等教育局大学振興課長)</p> <p>議事：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 平成25年度活動報告について 2. 平成26年度活動方針について 3. 平成25年度決算について 4. 平成26年度予算について 5. 次期幹事校・監査校の選出について 6. その他 <p>分科会</p> <p>分科会1「FD担当者のためのQ and Aセミナー —今さら聞けないFDの基礎基本—」 講師：佐藤 浩章 (大阪大学)</p> <p>分科会2「学びの意欲が持てない現代大学生の自己像とは？ —彼らをどう理解し支援するのか—」 講師：谷 美奈 (帝塚山大学)・松下 佳代 (京都大学)</p> <p>分科会3「アクティブラーニングの新しい展開・反転授業」 講師：森 朋子 (関西大学)・溝上 慎一 (京都大学)</p> <p>ポスターセッション「FD活動報告会2014」 01 大阪観光大学</p>

- 加藤 素明・宮澤 太総・伊藤 啓一 (FD 委員会)
『FD 研修会による教育実践の分かち合い—私の授業・指導ポイント—』
- 02 大阪体育大学
工藤 俊郎 (体育学部)
『授業評価結果およびリフレクション公開の取組』
- 03 大阪電気通信大学
溝口 文子・川口 雅之 (教育開発推進センター)
『大阪電気通信大学における FD 活動の取り組み』
- 04 大阪薬科大学
辻坊 裕・野村 彰吾・藤田 純生 (薬学部 FD 委員会)
『FD 活動の現状と課題について』
- 05 関西福祉科学大学・関西女子短期大学
木村 貴彦・治部 哲也・安藤友規子・江端 一揮・
宇恵 弘 (教育開発支援センター)
『多角的アプローチによる FD 活動：全学・学科・個人による実践例』
- 06 京都外国語大学・京都外国語短期大学
畑田 彩 (外国語学部)・梅本 直 (学生部)・
村上 正行 (マルチメディア教育研究センター)
『発達障害学生の支援と FD との連携』
- 07 京都産業大学 (総合生命科学部)
中村 暢宏 (総合生命科学部教授)・
若宮 健 (学生 FD スタッフ／総合生命科学部 3 年生)・
森脇可奈子 (学長室)
『教学職で考える「グローバルって何？」～京都産業大学グローバル・サイエ
ンス・セミナーにおける学生によるワークショップ実践報告～』
- 08 京都産業大学
中沢 正江・水野 直子・佐藤 賢一
『グローバル人材育成推進事業 (平成 24 年度採択) における質保証の試み～理
系 3 学部&外国語学部から全学的取組へ～』
- 09 京都産業大学
千葉美保子・呉 斌傑・尾崎 良子・中沢 正江・松井きょう子
『ラーニングコモンズにおける学習支援の取組～多様な学習スペースを活用し
た学習支援と ICT 支援の展開～』
- 10 京都市立芸術大学
『創造活動の土台となる基礎力育成：40 年以上の実績を積み上げたユニークな
導入教育』
- 11 京都大学
田中 一孝・田口 真奈 (高等教育研究開発推進センター)
『京都大学のプレ FD2014』
- 12 京都工芸繊維大学・京都府立大学・京都府立医科大学
『三大学が共同して教養教育を行う「教養教育共同化」の取組』
- 13 甲南大学 松井 淳 (フロンティアサイエンス学部生命化学科)
『学生の個人専用デスク集合スペース MyLab (マイラボ) を中心とする教職

- 員・学生一体の科学教育』
- 14 神戸海星女子学院大学 尾崎 秀夫
『神戸海星女子学院大学のリメディアル・システムの構築』
- 15 神戸親和女子大学 間渕 泰尚 (発達教育学部)
『神戸親和女子大学における組織的 FD の取り組み』
- 16 堺女子短期大学 水谷 千秋 (FD 委員会)
『FD を生かしたカリキュラム改革と授業実践の報告』
- 17 滋賀短期大学 高等教育開発センター
『滋賀短期大学 FD 活動の取り組みと課題』
- 18 園田学園女子大学・園田学園女子大学短期大学部
大江 篤 (人間教育学部・地域連携推進機構)
『<地域>と<大学>をつなぐ経験値教育プログラム』
- 19 奈良教育大学 今 正秀
『教職への歩みに確かにするための初年次教育の構築』
- 20 奈良女子大学 出田 和久 (研究院人文科学系)
『奈良女子大学における FD 活動の現況と課題—授業評価アンケートを中心に—』
- 21 兵庫大学 吉原 恵子 (FD 委員会)
『FD 委員会と特別委員会の連携による学士課程教育の構築』
- 22 龍谷大学・龍谷大学短期大学部
築地 達郎 (社会学部コミュニティマネジメント学科)
『組織的 PBL を中核とした、学びの動機を促すカリキュラム実践の 10 年』
- 23 和歌山信愛女子短期大学 村上 凡子 (保育科/FD 委員会主任)
『FD 委員会からの発信による組織的な取り組みの第 1 歩
—「わかって面白い」授業づくり—に向けて—』
- 24 和歌山大学 岩田 英朗 (経済学部/FD 委員長)
『専門教育とキャリア教育の融合による PBL 実践例』
- 25 和歌山大学 阿部秀二郎 (経済学部)
『和歌山大学経済学部初年次教育の問題』

閉会挨拶

- 5.19 高等教育研究開発推進センター協議員会 (平成 26 年度第 1 回)
- 5.20 教授 飯吉 透 21 日から 22 日まで開催される研究会での講演及び情報収集のため
中国へ海外出張 (5.22 帰国)
- 5.20 教授 松下 佳代 北京師範大学での講演及び学習評価に関する情報収集のため中国へ
海外出張 (5.24 帰国)
6. 3 教授 飯吉 透 edX 関係者と事前打合せミーティング及び情報交換を行い、Delft
University にて Consortium に出席し、情報収集及び意見交換を行うため、オランダへ
海外出張 (6.8 帰国)
- 6.11 高等教育研究開発推進センター運営会議 (平成 26 年度第 3 回)

- 6.20 平成 26 年度科学研究費助成事業・基盤研究 (A) 継続
 「大学教育改善の促進と教育イノベーション普及のための『大学教育コモンズ』の構築」
 研究代表者：飯吉 透 高等教育研究開発推進センター教授
 研究分担者：松下 佳代 高等教育研究開発推進センター教授
 溝上 慎一 高等教育研究開発推進センター教授
 田口 真奈 高等教育研究開発推進センター准教授
 酒井 博之 高等教育研究開発推進センター准教授
 田中 一孝 高等教育研究開発推進センター特定助教
 岡本 雅子 高等教育研究開発推進センター特定研究員
 鈴木 晶子 教育学研究科教授
 梶田 将司 学術情報メディアセンター教授
 喜多 一 学術情報メディアセンター教授
 土佐 尚子 学術情報メディアセンター教授
 田地野 彰 国際高等教育院教授
 高橋 幸 国際高等教育院准教授
 村上 正行 京都外国語大学マルチメディア教育研究センター准教授
 小野 和宏 新潟大学医歯学系教授
 重田 勝介 北海道大学情報基盤センター准教授
 岡部 洋一 放送大学学長
 尾澤 重知 早稲田大学人間科学学術院准教授
 稲葉利江子 津田塾大学学芸学部准教授
 大久保麻実 明海大学総合教育センター講師
 小河 一敏 宮崎県立看護大学看護学部看護学科准教授
 亀田 真澄 山口東京理科大学工学部准教授
 辰島 裕美 金沢星稜大学女子短期大学部講師
 米谷 淳 神戸大学大学教育推進機構教授
 水野邦太郎 福岡県立大学人間社会学部准教授
 田中 浩朗 東京電機大学工学部教授
 矢野浩二郎 大阪工業大学情報科学部准教授
 辻 靖彦 放送大学教養学部准教授
 木村 修平 立命館大学生命科学部准教授
 成瀬 尚志 長崎外国語大学外国語学部特任講師
 梶本 歩美 国際教養大学基盤教育助教
- 平成 26 年度科学研究費助成事業・基盤研究 (C) 継続
 「大学におけるコースポートフォリオ評価のためのルーブリック開発」
 研究代表者：酒井 博之 高等教育研究開発推進センター准教授
- 6.23 教授 飯吉 透 Wawasan Open University にて 24 日～27 日に開催されるシンポジウムでの講演及び情報収集のためマレーシアへ海外出張 (6.28 帰国)
- 6.29 平成 26 年度科学研究費助成事業・基盤研究 (C) 継続
 「深い学習を促すパフォーマンス評価の開発—OSCE-R を中心に—」
 研究代表者：松下 佳代 高等教育研究開発推進センター教授
 研究分担者：平山 朋子 藍野大学医療保健学部准教授

- 平成 26 年度科学研究費助成事業・基盤研究 (C) 継続
「青年期発達における自己形成の研究」
研究代表者：溝上 慎一 高等教育研究開発推進センター教授
- 6.30 高等教育研究開発推進センター運営委員会 (平成 26 年度第 3 回)
7. 6 高等教育研究開発推進センター運営会議 (平成 26 年度第 4 回)
- 7.22 FD 研究検討委員会・第 10 回勉強会「コースツリーの作成について」
場所：京都大学百周年時計台記念館 2 階国際交流ホール
プログラム：
開会挨拶 高見 茂 (教育担当理事補)
■第 1 部 コースツリー作成事例の紹介
講演「コースツリーを作成するために」
松下 佳代 (高等教育研究開発推進センター教授)
講演・事例紹介① (文系)「教育学部におけるコースツリーの作成について」
服部 憲児 (教育学研究科准教授)
講演・事例紹介② (理系)「コースツリーの作成：事例紹介② (理系)」
村上 章 (農学研究科教授)
質疑応答
■第 2 部 コースツリー作成上の課題やカリキュラムの分析についての意見交換
グループワーク説明 酒井 博之 (高等教育研究開発推進センター准教授)
グループワーク
質疑応答
閉会挨拶
飯吉 透 (FD 研究検討委員会委員長／高等教育研究開発推進センター長／教授)
- 7.27 大学生研究フォーラム 2014
「活力ある日本の若者教育をめざして一変貌する大学の入口と出口：大学・企業には何ができるか」
京都大学高等教育研究開発推進センター、東京大学大学総合教育研究センター、公益財団法人電通育英会共催
場所：京都大学百周年時計台記念館
プログラム：
フォーラム趣旨説明
溝上 慎一 (京都大学高等教育研究開発推進センター教授)
基調講演「社会で通用する人材を育てるための大学の役割、高校の役割」
鈴木 寛 (東京大学公共政策大学院教授／慶應義塾大学政策メディア研究科兼総合政策学部教授)
ジグソーカンファレンスの楽しみ方
中原 淳 (東京大学大学総合教育研究センター准教授)
主催者挨拶・ランチセッション
京都大学、東京大学、電通育英会
ピースセッション #1「変わる大学の入口と出口①」

【77】ファシリテーター

#S1-1. 「高校—大学の新しい連携」

【77】：溝上 慎一（京都大学高等教育研究開発推進センター教授）

「埼玉県の高校×東大のコラボ『ジグソーメソッドの推進』」

三宅なほみ（東京大学大学総合教育研究センター教授）

「大学・社会での学びに備える『活用・探究』授業」

椋本 洋（立命館大学工学部非常勤講師）

#S1-2. 「大学生のキャリアと学び」

【77】：杉田 一真（産業能率大学経営学部准教授）

「キャリア教育が入口と出口をつなぐ」

川崎 友嗣（関西大学社会学部教授）

「大学の学びとキャリア意識」

田澤 実（法政大学キャリアデザイン学部准教授）

#S1-3. 「変わる企業の人材マネジメント」

【77】：中原 淳（東京大学大学総合教育研究センター准教授）

「爆速経営に資する人材マネジメントの変化」

本間 浩輔（ヤフー株式会社執行役員 ピープル・デベロップメント統括本部統括本部長）

「はたらくを楽しむ社会を実現するための新卒採用」

美濃 啓貴（株式会社インテリジェンス HITO 本部本部長）

ピースセッション#2 「変わる大学の入口と出口②」

#S2-1. 「大学のアクティブラーニング」

【77】：杉田 一真（産業能率大学経営学部准教授）

「同志社大学における全学レベルのプロジェクトベース学習（PBL）」

山田 和人（同志社大学文学研究科教授）

「反転授業とともにあるアクティブラーニング」

山内 祐平（東京大学大学院情報学環准教授）

#S2-2. 「エビデンスベースの大学教育改革」

【77】：溝上 慎一（京都大学高等教育研究開発推進センター教授）

「エビデンスベースの教育改革+教学 IR のオーバービュー」

山田 礼子（同志社大学社会学部教授／教育支援機構副機構長／学習支援・教育開発センター長）

「立命館大学における教学 IR のチャレンジ」

鳥居 朋子（立命館大学教育開発推進機構教授）

#S2-3. 「大学生と社会人の出会いの場」

【77】：中原 淳（東京大学大学総合教育研究センター准教授）

「汽水域 社会人と成城生とのキャリアワークショップ」

勝又あずさ（成城大学共通教育研究センター特別任用准教授）

「ハナジョブ 女子学生と女子社員が出会い、創る場」

角 めぐみ（NPO 法人ハナラボ代表理事）

インテグレーションセッション

司会：中原 淳（東京大学大学総合教育研究センター准教授）

プレゼン

溝上 慎一 (京都大学高等教育研究開発推進センター教授)
 杉田 一真 (産業能率大学経営学部准教授)
 中原 淳 (東京大学大学総合教育研究センター准教授)

ディスカッション

司会：中原 淳 (東京大学大学総合教育研究センター准教授)

1. ピースのシェア
2. インテグレーション・ダイアローグ

「『大学の入口と出口はどう変わっていくのか?』という問いに対するダイアローグをする」

ラップアップ

溝上 慎一 (京都大学高等教育研究開発推進センター教授)

7.28 高校教員のためのシンポジウム

「活力ある日本の若者教育をめざして—大学だけでなく社会ともつながる高校教育の構築—」

大学生研究フォーラム 2014 併催

学校法人河合塾協力

場所：京都大学百周年時計台記念館

プログラム：

趣旨説明

溝上 慎一 (京都大学高等教育研究開発推進センター教授)

シンポジウムの流れと大学生研究フォーラム 2014 のレビュー

成田 秀夫 (学校法人河合塾教育研究開発本部開発研究職／講師)

I) 講演

司会：中原 淳 (東京大学大学総合教育研究センター准教授)

①企業研究の立場から

中原 淳 (東京大学大学総合教育研究センター准教授)

②大学の立場から

杉田 一真 (産業能率大学経営学部准教授)

③高校の立場から

三浦 隆志 (岡山県立玉島商業高等学校校長)

午後の部ガイダンス／主催者挨拶

京都大学、東京大学、電通育英会

II) ランチセッション

III) ジグソーセッション

第1会場

【7ア】：山本 啓一 (九州国際大学)

堀上 晶子 (河合塾)

中原 淳 (東京大学大学総合教育研究センター准教授)

第2会場

【7ア】：成瀬 尚志 (長崎外国語大学)

井澤 恒夫 (河合塾)

杉田 一真 (産業能率大学経営学部准教授)

第3会場

【7ア】：吉村 充功（日本文理大学）

竹内 幸哉（河合塾）

三浦 隆志（岡山県立玉島商業高等学校校長）

クロスセッション

山本 啓一（九州国際大学）

成瀬 尚志（長崎外国語大学）

吉村 充功（日本文理大学）

中原 淳（東京大学大学総合教育研究センター准教授）

杉田 一真（産業能率大学経営学部准教授）

三浦 隆志（岡山県立玉島商業高等学校校長）

司会：成田 秀夫（学校法人河合塾教育研究開発本部開発研究職／講師）

クロージング

溝上 慎一（京都大学高等教育研究開発推進センター教授）

7.29 平成26年度科学研究費助成事業・基盤研究（B）継続

「コースポートフォリオを活用した大学カリキュラムの質保証モデルの構築」

研究代表者：田口 真奈 高等教育研究開発推進センター准教授

研究分担者：飯吉 透 高等教育研究開発推進センター教授

松下 佳代 高等教育研究開発推進センター教授

酒井 博之 高等教育研究開発推進センター准教授

西村 敦 藍野大学医療保健学部教授

平山 朋子 藍野大学医療保健学部准教授

新保 健次 藍野大学医療保健学部助教

8. 2～3 高校教育フォーラム2014—大学そして社会への架橋

「キャリアと学びを社会にどうつなぐか」

主催：学研教育みらい

協賛：京都大学高等教育研究開発推進センター

場所：京都大学百周年時計台記念館

プログラム（1日目）：

総司会 I：長尾 博暢（鳥取大学大学教育支援機構キャリアセンター准教授）

イントロダクション

大堀 精一（学研教育みらい「学研・進学情報」監修）

基調報告

「堀川の流れは絶えずして—『しなやか』で『したたか』な青年を育成するために」

（京都市立堀川高校）

恩田 徹（校長）・橋詰 忍（総括室長）・飯澤 功（企画研究部長）

■大学の部

登壇者の紹介

溝上 慎一（京都大学高等教育研究開発推進センター教授）

レクチャー1

「『就活』とは何か—学生の実態・大学の支援」

長尾 博暢 (鳥取大学准教授)

レクチャー2

「キャリア教育で高校・大学・社会をつなぐ」

児美川孝一郎 (法政大学キャリアデザイン学部教授)

レクチャー3

「いま求められる能力とその評価」

松下 佳代 (京都大学高等教育研究開発推進センター教授)

会場ショート討論&質問票書き込み

懇親会

プログラム (2日目):

■大学の部・続き

パネルディスカッション

質問への回答と1日目の総括

長尾 博暢 (鳥取大学准教授)

児美川孝一郎 (法政大学教授)

松下 佳代 (京都大学教授)

【7ア】: 溝上 慎一 (京都大学教授)

■高校の部

総司会Ⅱ: 大堀 精一 (学研教育みらい「学研・進学情報」監修)

特別企画

村上 育朗 (教育未来研究会「そうぞう」) V.S. 高校若手教員

■ランチタイム・ミーティング

挨拶

上村 直之 (学研教育みらい学力開発事業部長)

飯吉 透 (京都大学高等教育研究開発推進センター長)

■高校の部・続き

実践レポート①

「進路指導について考えてきたこと」

千葉 貢 (前岩手県立盛岡北高校進路指導主事)

実践レポート②

「自己肯定感を高めアイデンティティの確立を援助する教育」

吉野 明 (東京・鷗友学園女子中学高校校長)

フロアーからの質問

高校現場からの報告

中村 怜詞 (鳥根県立隠岐島前高校教諭)

佐藤 正憲 (福島県立立花高校教諭)

五十嵐一明 (山形県立庄内総合高校教諭)

パネル・ディスカッション

「高校のキャリア教育をどう実践するか」

林 仁大 (三重県立津高校教諭)

矢部 敦子 (鳥取県立鳥取東高校教諭)

船越 裕 (長崎県立佐世保北高校教諭)

大堀 精一 (学研教育みらい)

司会：福永 文子（学研教育みらい・ライター）

2日間を振り返って

大堀 精一（学研教育みらい）

8.5 大学院生のための教育実践講座 2014—大学でどう教えるか—

FD 研究検討委員会主催

高等教育研究開発推進センター共催

場所：京都大学百周年時計台記念館 2階

プログラム：

開会式

挨拶：飯吉 透（FD 研究検討委員会委員長／高等教育研究開発推進センター教授）

趣旨とプログラム説明：酒井 博之（高等教育研究開発推進センター准教授）

【BASIC】

セッション 1

ミニ講義 1 「大学授業の現在と未来」

飯吉 透（高等教育研究開発推進センター教授）

セッション 2

グループ討論 1（自己紹介）「大学授業をどう思うか」

セッション 3

ランチと自由討論

セッション 4

コミュニケーションデザイン「演劇でコミュニケーションデザイン」

蓮 行（大阪大学コミュニケーションデザイン・センター特任講師）

セッション 5

ミニ講義 2 「大学授業の現場から見たプレ FD」

吉沢 一也（大阪体育大学講師）

セッション 6

グループ討論 2 「大学の授業で教師に求められるもの」

グループ討論整理

セッション 7

全体討論 「大学で教えるために」

セッション 8

「大学で教えるということ」

田口 真奈（高等教育研究開発推進センター准教授）

【ADVANCED】

セッション 1

ミニ講義 1 「大学授業の現在と未来」

飯吉 透（高等教育研究開発推進センター教授）

セッション 2

全体討論 1（自己紹介）「教える側からみた大学授業」

セッション 3

ランチと自由討論

セッション 4

コミュニケーションデザイン「演劇でコミュニケーションデザイン」
 蓮 行 (大阪大学コミュニケーションデザイン・センター特任講師)

セッション 5

模擬公開授業・検討会

セッション 6

全体討論 2

【BASIC】 【ADVANCED】

閉会式

挨拶・修了証授与

淡路 敏之 (京都大学理事)

飯吉 透 (FD 研究検討委員会委員長／高等教育研究開発推進センター教授)

情報交換会

8. 7 高等教育研究開発推進センター運営会議 (平成 26 年度第 5 回)

8. 8 教授 飯吉 透 マサチューセッツ工科大学にて Learning with MOOC Conference の資料・発表準備、当該研究に関する打合せ、Learning with MOOC Conference 参加、ハーバード大学にて当該研究に関する打合せのため海外出張 (8.18 帰国)

8.17 教授 溝上 慎一 Ibis budget Amsterdam Airport にて研究課題に関する資料収集及び打ち合わせ、The Hague University にて学会参加及び発表のため海外出張 (8.22 帰国)

8.20～21 MOST フェロー合宿 2014

(第 3 期 MOST フェローシッププログラム第 2 回ミーティング)

場所：京都大学 吉田泉殿

プログラム (1 日目)：

開会挨拶

挨拶・本合宿研究会の趣旨について

飯吉 透 (京都大学高等教育研究開発推進センター教授)

MOST フェロー合宿プログラムについて

田口 真奈 (京都大学高等教育研究開発推進センター准教授)

セッション 1

MOST フェロー活動報告

司会：酒井 博之 (京都大学高等教育研究開発推進センター准教授)

発表者

亀田 真澄 (山口東京理科大学工学部准教授)

大久保麻実 (明海大学総合教育センター講師)

米谷 淳 (神戸大学大学教育推進機構教授)

辰島 裕美 (金沢星稜大学女子短期大学部講師)

成瀬 尚志 (長崎外国語大学外国語学部特任講師)

矢野浩二郎 (大阪工業大学情報科学部准教授)

小河 一敏 (宮崎県立看護大学看護学部准教授)

水野邦太郎 (福岡県立大学人間社会学部准教授)

梶本 歩美 (国際教養大学基盤教育助教)

田中 浩朗 (東京電機大学工学部教授)

ディナーセッション

司会：岡本 雅子 (京都大学高等教育研究開発推進センター特定研究員)

トーク 1：歴代 MOST フェロー (ゲスト：第 1 期 MOST フェロー)

勝又あずさ (成城大学)

村井 淳志 (金沢大学)

村上 裕美 (関西外国語大学)

トーク 2

飯吉 透 (京都大学高等教育研究会開発推進センター教授)

プログラム (2 日目)：

朝食セッション

「自分の人生や教育・研究に影響を与えた『本』や『映画』の紹介」

セッション 3

今年度後半のプログラムについて

酒井 博之 (京都大学高等教育研究開発推進センター准教授)

DIY キットについて (グループワーク)

セッション 4

第 21 回大学教育研究フォーラムに向けて

大学教育研究フォーラムでの研究発表について

8.29 高等教育研究開発推進センター運営委員会 (平成 26 年度第 4 回)

9. 1 第 88 回公開研究会

「学位プログラムをどうデザインするか？—歴史学分野におけるチューニングの事例から—」

主催：京都大学高等教育研究開発推進センター

協賛：学校法人河合塾教育研究開発本部、関西地区 FD 連絡協議会

場所：京都大学芝蘭会館別館

プログラム：

■セッション 1 講演

開会挨拶

飯吉 透 (京都大学高等教育研究開発推進センター長)

講演 1

深堀 聡子 (国立教育政策研究所高等教育研究部総括研究官)

「チューニングとは何か？—目的、プロセス、教育政策への示唆—」

講演 2

ダニエル・マッキナーニー (ユタ州立大学歴史学部教授・副学部長)

「歴史学のコアと歴史学学位プログラムの開発—USU での経験から—」

■セッション 2 パネルディスカッション

司会：溝上 慎一 (京都大学高等教育研究開発推進センター教授)

指定討論：松下 佳代 (京都大学高等教育研究開発推進センター教授)

「京都大学の教育改革—チューニングから何を学ぶか？—」

パネルディスカッション

パネリスト：

ダニエル・マッキナーニー（ユタ州立大学歴史学部教授／副学部長）

深堀 聰子（国立教育政策研究所高等教育研究部総括研究官）

松下 佳代（京都大学高等教育研究開発推進センター教授）

閉会挨拶

飯吉 透（京都大学高等教育研究開発推進センター長）

閉会

- 9.10 高等教育研究開発推進センター運営会議（平成26年度第6回）
 高等教育研究開発推進センター協議員会（平成26年度第2回）

- 9.11 教育関係共同利用拠点『相互研修型FD共同利用拠点』平成26年度運営委員会

- 9.12 FDネットワーク代表者会議（JFDN）2014年度会合

場所：京都大学吉田南キャンパス吉田南一号館106会議室

プログラム：

閉会挨拶 飯吉 透（京都大学高等教育研究開発推進センター長）

■第1部

講演：「大学教育の質的転換と今後のFD」

猪股 志野（文部科学省高等教育局大学振興課大学改革推進室室長）

ディスカッション with ランチ

■第2部

FDネットワークおよび教育関係共同利用拠点の現状と課題

1. 田中 岳（九州地域大学教育改善FD・SDネットワーク：Q-Links・九州大学）
 「かたらしめてえ Q-Links 2014」

2. 山田 剛史（四国地区教職員能力開発ネットワーク（SPOD）／教職員能力開発拠点・愛媛大学）

「SPOD および共同利用拠点における教職員能力開発の展開と成果」

3. 鹿住 大助（山陰地区FD連絡協議会および山陰地域ソーシャルラーニングセンター・島根大学）

「大学間連携共同教育推進事業とFD・SDの展開：山陰地域・大学連携ソーシャルラーニング事業の取り組み」

4. 山本 美奈（大学コンソーシアム京都）

「大学コンソーシアム京都 第4ステージの課題—新たな分散的FDと多角的FDネットワークのあり方の視点から—」

5. 安岡 高志（全国私立大学FD連携フォーラム・立命館大学）

「全国私立大学FD連携フォーラムの活動報告—加盟大学が33校になりました—」

6. 飯吉 透（関西地区FD連絡協議会・京都大学）

「教育関係共同利用拠点の今後—関西地区FD連絡協議会の行方—」

7. 夏目 達也（FD・SD教育改善支援拠点・名古屋大学）

「名古屋大学『FD・SD教育改善支援拠点』の今後」

8. 丹羽 雅之（医学教育共同利用拠点・岐阜大学）

「医療者教育フェロシップの構築：体系的FD・メンタリング・研究支援を融合した新たなFDの全国展開」

9. 杉原 一臣 (福井県学習コミュニティ推進協議会 (F レックス)・福井工業大学)
「F レックスにおける相互研修型 FD の実践」
10. 杉森 公一 (大学コンソーシアム石川・金沢大学)
「いしかわの大学人養成を目指す FD・SD 共同プロジェクト、若手教員授業研究会の試み」
11. 鈴木 友子 (看護学教育研究共同利用拠点・千葉大学)
「看護学教育研究共同利用拠点における現況と課題」
12. 羽田 貴史 (国際連携を活用した大学教育力開発の支援拠点・東北大学)
「循環的の大学教育開発の構築：ローカルリズムとリメディアルモデルを乗り越える東北大学からの提言」

■第3部

新たな分散的 (distributed) FD と多元的 (multi-dimensional) FD ネットワークのあり方について

コメント：

猪股 志野 (文部科学省高等教育局大学振興課大学改革推進室室長)

全体ディスカッション

- 9.18～19 平成 26 年度全国大学教育研究センター等協議会参加
参加者：溝上 慎一 (高等教育研究開発推進センター教授)
- 9.24 中国国家開放大学デジタル学習資源センター (National E-learning Resource Center, The Open University of China) のセンター訪問
- 9.25 2014 年度 京都大学新任教員教育セミナー
高等教育研究開発推進センター・FD 研究検討委員会共同主催
場所：京都大学百周年時計台記念館国際交流ホール
プログラム：
プレワークショップ
「学生に届く声—授業におけるコミュニケーションスキルのためのワークショップ—」
連 行 (大阪大学コミュニケーションデザイン・センター特任講師)
(関西地区 FD 連絡協議会 FD 共同実施 WG 共催)
開会式
挨拶：淡路 敏之 (教育担当理事)
司会：田口 真奈 (高等教育研究開発推進センター准教授)
セッション 1
ミニ講義 1：「現在の大学教育の動向と京都大学の教育改革」
飯吉 透 (FD 研究検討委員会委員長／高等教育研究開発推進センター長)
セッション 2
ミニ講義 2：「京大生の学習の実態」
溝上 慎一 (高等教育研究開発推進センター教授)
セッション 3
ミニ講義 3：「京大の教育的取組」
「教養・共通教育 (PandA の紹介を含む)」
喜多 一 (国際高等教育院副教育院長)

「困難を抱えた学生に向き合うには」

上床 輝久 (健康科学センター助教)

「京都大学の教育サポートリソース」

田中 一孝 (高等教育研究開発推進センター特定助教)

セッション 4

ミニ講義 4: 「私の授業」

高橋 由典 (国際高等教育院 (人間・環境学研究科) 教授)

セッション 5

グループ討論: 「京大でどう教え、指導するか」

【事】…事例紹介者、【ﾌｱ】…ファシリテーター

1. 科学者倫理教育

【事】平竹 潤 (化学研究所教授)

【ﾌｱ】松下 佳代 (高等教育研究開発推進センター教授)

2. ICTを使った教育—MOOCを中心に—

【事】土佐 尚子 (情報環境機構教授)

【ﾌｱ】酒井 博之 (高等教育研究開発推進センター准教授)

3. 英語による授業をどう行うか?

【事】金 哲佑 (工学研究科教授)

【ﾌｱ】飯吉 透 (高等教育研究開発推進センター教授)

4. 学生の思考力を鍛える

【事】伊勢田哲治 (文学研究科准教授)

【ﾌｱ】溝上 慎一 (高等教育研究開発推進センター教授)

5. 研究室運営

【事】宮野 公樹 (学際融合教育研究推進センター准教授)

【ﾌｱ】田口 真奈 (高等教育研究開発推進センター准教授)

6. 博士課程院生のためのキャリア形成支援

【事】奥村 正悟 (学生総合支援センターキャリアサポートルーム教授)

【ﾌｱ】田中 一孝 (高等教育研究開発推進センター特定助教)

セッション 6

ラップアップ

閉会式

挨拶: 飯吉 透 (FD 研究検討員会委員長/高等教育研究開発推進センター長)

情報交換会

10. 1 高等教育研究開発推進センター運営会議 (平成 26 年度第 7 回)
 高等教育研究開発推進センター運営委員会 (平成 26 年度第 5 回)

10. 8 第 89 回公開研究会・国際シンポジウム
 JSPS 科研費基盤研究 (C) 「深い学習を促すパフォーマンス評価の開発」
 (研究代表者: 松下 佳代)
 「学習のための、学習としての評価—PBL と MOOC における学習評価の可能性—」
 主催: 京都大学高等教育研究開発推進センター
 協賛: 学校法人河合塾教育研究開発本部、関西地区 FD 連絡協議会
 場所: 京都大学芝蘭会館山内ホール

- プログラム：
開会挨拶
喜多 一（京都大学国際高等教育院副教育院長）
司会：溝上 慎一（京都大学高等教育研究開発推進センター教授）
講演「学習の評価から、学習のための評価へ」
エリック・マズール（ハーバード大学教授）
報告
飯吉 透（京都大学高等教育研究開発推進センター教授／センター長）
「MOOC の進化と学習評価」
松下 佳代（京都大学高等教育研究開発推進センター教授）
「学習としての評価—PBL（問題基盤型学習）におけるパフォーマンス評価—」
パネルディスカッション
パネリスト：エリック・マズール（ハーバード大学教授）
飯吉 透（京都大学高等教育研究開発推進センター教授／センター長）
松下 佳代（京都大学高等教育研究開発推進センター教授）
閉会挨拶
飯吉 透（京都大学高等教育研究開発推進センター教授／センター長）
- 10.12 教授 飯吉 透 国家研究原子力大学にて IITE2014 への参加及び講演、National University of Science にて International Conference for New Educational Technologies への参加、講演を行うため、ロシアに海外出張（10.19 帰国）
- 10.20 FD 研究検討委員会・第 11 回勉強会「コースツリー勉強会（第 2 回）」
場所：京都大学附属図書館 3 階ライブラリーホール
プログラム：
開会挨拶 北野 正雄（教育・情報・評価担当理事）
講演：「コースツリー作成のポイント」
松下 佳代（高等教育研究開発推進センター教授）
相談会
閉会挨拶
飯吉 透（FD 研究検討委員会委員長／高等教育研究開発推進センター教授）
- 10.22～25 ISSOTL2014 参加（ケベック市コンベンションセンターにて）
参加者：飯吉 透（高等教育研究開発推進センター教授）
11. 5 高等教育研究開発推進センター運営会議（平成 26 年度第 8 回）
11. 6 高等教育研究開発推進センター運営委員会（平成 26 年度第 6 回）
- 11.10 GPA（Grade Point Average）に関する勉強会
場所：京都大学吉田南一号館 206 号室
「愛媛大学における GPA の導入事例について」
山田 剛史（愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室副室長／准教授）
「一橋大学における GPA の導入事例について」
筒井 泉雄（一橋大学大学教育研究開発センターセンター長／教授）

- 11.18 ミニセミナー「韓国のMOOC事情について」
イ テリム (韓国放送通信大学校自然科学学部情報統計学科教授)
- 11.19 教授 松下 佳代 デウスト大学ビルバオキャンパスにてデウスト大学 Dr. Beneitone
と研究打合せ、Tuning Academy 訪問調査及び情報収集、デウスト大学 Dr. Asier Altuna
と研究打合せ、フローニンゲン大学 Dr. Wagenaar と研究打合せのためスペインへ海外
出張 (11.25 帰国)
- 11.19~21 edX Global Forum 参加 (ボストン大学にて)
参加者：飯吉 透 (高等教育研究開発推進センター教授)
酒井 博之 (高等教育研究開発推進センター准教授)
- 11.26 高等教育研究開発推進センター運営委員会 (平成 26 年度第 7 回)
- 11.28 第 10 回工学部教育シンポジウム
京都大学工学部主催
FD 研究検討委員会協賛
場所：京都大学桂キャンパス桂ホール
プログラム：
開会挨拶 伊藤紳三郎 (工学部長)
話題提供
「発達障害への精神医療の歴史と大学における状況」
十一 元三 (医学研究科教授)
質疑応答
話題提供
「ICT 利用による授業改善と教育のオープン化」
酒井 博之 (高等教育研究開発推進センター准教授)
「教育改善に向けて 私の授業—アンケート結果を受けて—」
立川 康人 (地球工学科)
琵琶 志朗 (物理工学科)
和田 修己 (電気電子工学科)
「委員長総括」
木村 健二 (新工学教育実施専門委員会委員長)
ディスカッション
12. 1 関西地区 FD 連絡協議会第 10 回幹事会
- 12.10 高等教育研究開発推進センター運営会議 (平成 26 年度第 9 回)
- 12.20 ワークショップ
「思考し表現する学生を育てる VI—コピーではなく自分の頭で考えさせるためのライ
ティング指導—」
主催：関西地区 FD 連絡協議会
共催：京都大学高等教育研究開発推進センター
場所：京都大学吉田南一号館 1 共 31 講義室

- プログラム：
オープニング（開会挨拶・趣旨説明）
講演とワーク（その1）
「大学におけるパーソナル・ライティング導入の意義—『文章表現者としての主体形成』をいかに促すか—」
谷 美奈（帝塚山大学全学教育開発センター准教授）
講演とワーク（その2）
「『思考の型』をいかに学ばせるか—哲学系科目におけるライティング指導—」
坂本 尚志（京都薬科大学一般教育分野講師）
ディスカッション
クロージング（閉会挨拶）
- 12.26 高等教育研究開発推進センター運営委員会（平成26年度第8回）
2015. 1.14 高等教育研究開発推進センター運営会議（平成26年度第10回）
- 1.19 第90回公開研究会・国際シンポジウム
「MOOC時代の大学教育改善」
主催：京都大学高等教育研究開発推進センター
協賛：関西地区FD連絡協議会
後援：京都大学FD研究検討委員会
場所：京都大学芝蘭会館（稲盛ホール）
プログラム：
■セッション1
開会挨拶 北野 正雄（京都大学理事／副学長）
基調講演：
Professor Robert A. Lue
(Faculty Director, HarvardX and of the Derek Bok Center for Teaching and Learning,
Harvard University)
「大学のデジタル革命」
“The Digital Evolution of the University”
講演：
飯吉 透（京都大学理事補／高等教育研究開発推進センター長／教授）
「京都大学における教育イノベーションと教授・学習支援の新たな可能性」
■セッション2
話題提供
美濃 導彦（京都大学情報環境機構長／学術情報メディアセンター教授）
竹村 治雄（大阪大学全学教育推進機構企画開発部長／教育学習支援センター長／サイバーメディアセンター教授）
■セッション3
パネルディスカッション
司会：松下 佳代（京都大学高等教育研究開発推進センター教授）
パネリスト：Robert A. Lue

(Faculty Director, HarvardX and of the Derek Bok Center for Teaching and Learning Harvard University)

飯吉 透

(京都大学理事補／高等教育研究開発推進センター長／教授)

美濃 導彦

(京都大学情報環境機構長／学術情報メディアセンター教授)

竹村 治雄

(大阪大学全学教育推進機構企画開発部長／教育学習支援センター長／サイバーメディアセンター教授)

- 1.23 高等教育研究開発推進センター運営委員会 (平成 26 年度第 9 回)
- 1.26 関西地区 FD 連絡協議会第 11 回幹事会
- 1.28～29 センター研究会合宿
講師：山田 剛史 (愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室副室長／准教授)
- 1.29 教授 飯吉 透 香港科学技術大学にて 5th Education and Resarch Technology Forum への参加、講演のため中国へ海外出張 (1.31 帰国)
2. 6 高等教育研究開発推進センター運営委員会 (平成 26 年度第 10 回)
2. 9～11 EDUCAUSE ELI Annual Meeting 2015 参加 (アナハイム・ヒルトンホテルにて)
参加者：酒井 博之 (高等教育研究開発推進センター准教授)
岡本 雅子 (高等教育研究開発推進センター特定助教)
- 2.17 高等教育研究開発推進センター協議員会 (平成 26 年度第 3 回)
- 2.18 高等教育研究開発推進センター運営会議 (平成 26 年度第 11 回)
- 2.19 文学研究科プレ FD プロジェクト 2014 年度事後研修会
- 2.25 教授 飯吉 透 JW Marriott Dongdaemun Square にて Global Education Dialogue Korea 2015 への参加、講演のため韓国へ海外出張 (2.27 帰国)
3. 9 高等教育研究開発推進センター運営委員会 (平成 26 年度第 11 回)
- 3.13～14 第 21 回大学教育研究フォーラム
協賛：学校法人河合塾教育研究開発本部、関西地区 FD 連絡協議会
場所：京都大学吉田南総合館、百周年時計台記念館
プログラム：
■ MOST フェロー発表会
■ 基調講演・シンポジウム
開会の挨拶：山極 壽一 (京都大学総長)
基調講演 佐藤 邦明 (文部科学省高等教育局高等教育企画課国際企画室国際企画専門官)
シンポジウム「大学教育の国際化×正課正課外における主体的な学び」

報告者 芦沢 真五 (東洋大学国際地域学部国際地域学科教授)
報告者 飯吉 透 (京都大学高等教育研究開発推進センター教授/センター長)
報告者 落合 一泰 (一橋大学大学院社会学研究科教授)
司会 田口 真奈 (京都大学高等教育研究開発推進センター准教授)
司会 松下 佳代 (京都大学高等教育研究開発推進センター教授)

■小講演 1

青木 深 (一橋大学学生支援センター特任講師)
石井 英真 (京都大学大学院教育学研究科准教授)
水谷 雅彦 (京都大学大学院文学研究科教授/附属応用哲学・倫理学教育研究センター長)
近田 政博 (神戸大学大学教育推進機構・大学院国際協力研究科教授)

■小講演 2

田坂さつき (立正大学文学部哲学科教授)
山田 剛史 (愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室副室長/准教授)
大塚 雄作 (独立行政法人大学入試センター試験・研究副統括官/教授)
重田 勝介 (北海道大学情報基盤センター准教授)

■個人研究口頭発表 19 部会 112 件

■個人研究ポスター発表 36 件

■参加者企画セッション 11 件

- 3.14 第4期 MOST フェロシッププログラム第1回ミーティング
第3期 MOST フェロシッププログラム修了式
- 3.16 高等教育研究開発推進センター運営委員会 (平成26年度第12回)
- 3.20 MOST 講習会
主催: 京都大学高等教育研究開発推進センター
共催: 関西地区 FD 連絡協議会広報 WG
場所: 京都大学吉田南一号館 206 会議室
プログラム:
趣旨説明、MOST・KEEP Toolkit の概要説明
操作説明
参加者によるスナップショット作成
- 3.20 高等教育研究開発推進センター協議委員会 (平成26年度第4回)

(古橋 千恵・寺井佐加恵)

高等教育研究開発推進センター組織

(2014年4月1日～2015年3月31日)

高等教育研究開発推進センター協議員：

飯吉 透 センター長
松下 佳代 センター教授
溝上 慎一 センター教授 (6月～)
北野 正雄 国際高等教育院長 (～9月)
村中 孝史 国際高等教育院長 (10月～)
喜多 一 国際高等教育副教育院長
杉万 俊夫 人間・環境学研究科長 (～9月)
高橋 由典 人間・環境学研究科長 (10月～)
有賀 哲也 大学院理学研究科長
伊藤 和行 大学院文学研究科教授
子安 増生 大学院教育学研究科長
寺田 浩明 大学院法学研究科教授
塩地 洋 大学院経済学研究科教授
小西 靖彦 大学院医学研究科教授
橋田 充 大学院薬学研究科教授
北村 隆行 大学院工学研究科教授
久米 新一 大学院農学研究科教授
佐藤 亨 大学院情報学研究科長
美濃 導彦 学術情報メディアセンター教授

高等教育研究開発推進センター運営委員：

飯吉 透 センター長
松下 佳代 センター教授
溝上 慎一 センター准教授 (6月～センター教授)
田口 真奈 センター准教授
酒井 博之 センター准教授
田中 一孝 センター特定助教
岡本 雅子 センター特定助教 (12月～)

平成26年度学外研究協力者：

米谷 淳 神戸大学大学教育推進機構教授
山内 乾史 神戸大学大学教育推進機構教授
吉田 文 早稲田大学教育・総合科学学術院教授
中原 淳 東京大学大学総合教育研究センター准教授
田中 每実 武庫川女子大学文学部教授
山田 礼子 同志社大学社会学部教授
村上 正行 京都外国語大学マルチメディア教育研究センター准教授

杉原 真晃 聖心女子大学文学部教育学科准教授
山田 剛史 愛媛大学教育・学生支援機構准教授
小田 隆治 山形大学地域教育文化学部教授
夏目 達也 名古屋大学高等教育研究センター教授
尾澤 重知 早稲田大学人間科学学術院准教授
圓月 勝博 同志社大学文学部教授
沖 裕貴 立命館大学教育開発推進機構教授
鳥居 朋子 立命館大学教育開発推進機構教授
栗田佳代子 東京大学大学総合教育研究センター特任准教授
高橋 哲也 大阪府立大学教授・副学長
重田 勝介 北海道大学情報基盤センター准教授
竹村 治雄 大阪大学教育学習支援センター教授・センター長
森 朋子 関西大学教育開発支援センター准教授
Eric Mazur Harvard 大学教授
Randy Bass Georgetown 大学 Associate Provost

平成 26 年度学内研究担当教員：

子安 増生 大学院教育学研究科教授
田中 耕治 大学院教育学研究科教授
高見 茂 大学院教育学研究科教授
杉本 均 大学院教育学研究科教授
楠見 孝 大学院教育学研究科教授
大山 泰宏 大学院教育学研究科准教授
土井 真一 国際高等教育院教授
喜多 一 国際高等教育院教授
田地野 彰 国際高等教育院教授
出口 康夫 大学院文学研究科准教授
永井 和 大学院文学研究科教授
福谷 茂 大学院文学研究科教授
宮川 恒 大学院農学研究科教授
錦織 宏 医学研究科附属医学教育推進センター准教授
美濃 導彦 学術情報メディアセンター教授

高等教育研究開発推進センター教員業績

(2014年4月1日～2015年3月31日)

※職名は2014年度

第一部門（高等教育教授システム研究開発部門）

飯吉 透（教授）

1. 研究業績

【論文・著書など】

- ・飯吉透 2014.4 「普遍化する MOOC は教育改革に何を提起するか（上）」教育学術新聞，第 2561 号.
- ・飯吉透 2014.5 「普遍化する MOOC は教育改革に何を提起するか（下）」教育学術新聞，第 2562 号.
- ・飯吉透 2014.10 「ICT 利用とアメリカ高等教育の進展：その潮流と意義」『IDE：現代の高等教育』Vol. 564, 62-66 頁.
- ・飯吉透 2014.12 「オープンで自由な学び—映画，大学，図書館，そしてインターネット」『京都大学吉田南総合図書館報「かりん」』，No. 7, 6 頁.

【報告書】

- ・飯吉透 2014.6 「オープンエデュケーションを活かした FD と教育改善」『大学コンソーシアム京都第 19 回 FD フォーラム報告書』，111-118 頁.
- ・飯吉透 2015.3 「主体的な学びをどう育むか—教育文化・方法・環境・制度の観点から—」京都大学全学教育シンポジウム報告書，50-72 頁.
- ・飯吉透 2015.3 「はじめに」『京都大学高等教育叢書 34 相互研修型 FD 拠点活動報告 2014』3-14 頁.
- ・飯吉透 2015.3 「研究ワーキンググループ」同上，172-173 頁.
- ・酒井博之・飯吉透・田口真奈 2015.3 「MOST」同上，185-189 頁.
- ・田中一孝・松下佳代・飯吉透・岡本雅子 2015.3 「学習のための，学習としての評価—PBL と MOOC における学習評価の可能性—」同上，272-303 頁.
- ・岡本雅子・飯吉透・田中一孝 2015.3 「学習のための，学習としての評価—PBL と MOOC における学習評価の可能性—」同上，304-308 頁.
- ・飯吉透 2015.3 「ISSOTL2014 参加発表報告」同上，309-310 頁.

【学会発表】

- ・飯吉透 2014.10.23 “Massive SOTL in Action: MOOC, Creativity, Critical Thinking, and Peer Assessment” The 11th Annual Conference of the International Society for the Scholarship of Teaching and Learning, Quebec, Canada
- ・飯吉透 2015.3.13 「主体的な学びの喚起と持続のためのオープンな学習環境を考える—21 世紀のジョン万次郎をどう育てるか—」，シンポジウム「大学教育の国際化×正課・成果外における主体的な学び」第 21 回大学教育研究フォーラム，京都大学

2. 教育活動

【学内】

①全学共通教育

- ・ポケットゼミ「オープンエデュケーション入門」（前期）
- ・KUINEP「The World of Open Education」（後期）

③大学院教育

- ・「高等教育システム演習 A・B」(教育学研究科, 前・後期)
- ・「高等教育開発論研究 A・B」(教育学研究科, 前・後期)
- ・「高等教育開発論基礎」(教育学研究科, 前期)
- ・研究科横断型教育プログラム「大学で教えるということ」(教育学研究科, 後期)

3. その他の活動

【学内委員】

- ・理事補 (教育担当)
- ・高等教育研究開発推進センター センター長
- ・教育研究評議会 評議員
- ・FD 研究検討委員会 委員長
- ・全学・点検・評価実行委員会 委員
- ・教育制度委員会 委員・WG2 主査
- ・入学試験委員会 委員
- ・特色入試実施委員会 委員
- ・特色入試実施準備委員会 委員
- ・国際交流推進機構協議会・幹事会 委員
- ・研究公正委員会 委員
- ・研究公正推進委員会 委員
- ・研究公正の推進検討委員会 委員
- ・研究公正の推進検討委員会研究公正教育小委員会 委員
- ・オープンコースウェア運用委員会 委員
- ・情報環境機構 KUINS 利用負担金検討委員会 委員
- ・GSC-ELCAS ユニット委員会 委員
- ・吉田南総合図書館協議会 協議員

【社会活動】

- ・私学高等教育研究所 客員研究員
- ・文部科学省生涯学習政策局「ICT を活用した課題解決型教育の推進事業」企画評価委員会 委員
- ・大阪市公募制度のあり方検討 PT 会議 特別参与
- ・日米研究インスティテュート 運営アドバイザー
- ・関西地区 FD 連絡協議会 代表幹事校代表
- ・立命館宇治高等学校スーパーグローバルハイスクール (SGH) 運営指導委員会 委員

【講演・シンポジウムなど】

- ・飯吉透 2014.4.25 「MOOC が世界の高等教育と日本の大学に与えるインパクト」日本開発構想研究所都市圏高等教育懇談会基調講演, 東海大学校友会館
- ・飯吉透 2014.5.21 “Nurturing Students’ Creativity through Teaching and Learning at Research Universities” Invited Lecture, Symposium on Teaching and Learning in East Asian Research Universities, Nanjing University, Nanjing, China
- ・飯吉透 2014.5.31 「教えと学びの新たな展望: MOOC の次に来るもの」日本青少年育成協会設立 20 周年記念講演会特別講演, 三宮研修センター
- ・飯吉透 2014.6.18 「教育のオープン化が変える日本と世界の教育の未来」日本 e ラーニングコンソーシアム総会記念セミナー講演, Learning Square 新橋
- ・飯吉透 2014.6.26 “Spurring Open Educational Innovation for the Sustainable Advancement of Learning and Teaching” Keynote Lecture, 2nd Regional Symposium on Open Educational Resources, Wawasan Open University, Penang, Malaysia

- ・飯吉透 2014.7.4 「ICT 利用によって革新する日本の大学教育：その課題と可能性を探る」manaba セミナーパネルディスカッション，経団連会館カンファレンス
- ・飯吉透 2014.7.25 「大学教育の変化と大学生協の役割：多様化とオープン化を巡って」大学生協全国書籍部門セミナー記念講演，コープイン京都
- ・飯吉透 2014.8.6 「日本の教育に今何が欠けているのか？」第 6 回情報戦略フォーラム基調講演，京都大学
- ・飯吉透 2014.8.22 「オープンエデュケーションと日本の高等教育の今後」IDE 大学セミナー講演，京都大学
- ・飯吉透 2014.9.8 「オープンエデュケーションと大学図書館のこれから」京都大学附属図書館研究会講演，京都大学
- ・飯吉透 2014.9.18 「オープンエデュケーションの世界—21 世紀の『知の革命』と教育の未来—」東京で学ぶ京大の知シリーズ 16「社会に浸透する情報技術」講演，京都大学東京オフィス
- ・飯吉透 2014.10.8 「MOOC の進化と学習評価」，国際シンポジウム「学習としての評価—PBL と MOOC における学習評価の可能性—」，京都大学
- ・飯吉透 2014.10.10 「オープンエデュケーションの進展と高等教育の質保証—MOOC の問いかけるもの—」大学アドミニストレーター養成プログラム「大学行政論 II」講演，立命館大学
- ・飯吉透 2014.10.14 “Open Education 2.0: Fostering the Collective Advancement of Learning, Teaching, and Assessment” Invited Lecture, New Challenges for Pedagogy and Quality Education: MOOCs, Clouds and Mobiles, UNESCO IITE-2014, National Nuclear Research University MEPhI, Moscow, Russia
- ・飯吉透 2014.10.17 “Harnessing Open Educational Innovation to Advance Learning and Teaching” Invited Lecture, EdCrunch, National University of Science and Technology (MISIS), Moscow, Russia
- ・飯吉透 2014.12.24 「グローバルな教育のオープン化が変える日本と世界の教育の未来」三国丘高校スーパーグローバルハイスクール特別講義，京都大学
- ・飯吉透 2015.1.9 「京都大学における教育イノベーションと教授・学習支援の新たな可能性」，国際シンポジウム「MOOC 時代の大学教育改善」，京都大学
- ・飯吉透 2015.1.30 “Advancing Learning and Teaching with Open Educational Innovation: Opportunities and Strategies” 5th Education and Research Technology Forum, Association of Pacific Rim Universities, Hong Kong University of Science and Technology, Hong Kong, China
- ・飯吉透 2015.2.27 “Open Educational Innovation and Improvement at Kyoto University” Invited Lecture, Global Education Dialogue Korea 2015 *The Role of Technology in the Race for Global Talent*, British Council, Seoul, Korea
- ・飯吉透 2015.3.28 「『教育のオープン化』とは—その意義と先端的事例を踏まえて—」，日本大学教学戦略シンポジウム「『教育のオープン化』の“いま”と“これから”」，日本大学

【その他】

- ・飯吉透・芦沢真五・船橋力 2014.9.26 「日本から海外へ，留学を通じた学びに期待すること」（パネルディスカッション），第 15 回 manaba セミナー，ANA クラウンプラザホテル京都
- ・飯吉透 2015.3.16 「21 世紀の知の革命・オープンエデュケーション」，FM 京都ラジオ番組「Kyoto University Academic Talk」出演

松下 佳代（教授）

1. 研究業績

【著書】

（編著）

- ・松下佳代・京都大学高等教育研究開発推進センター（編） 2015.1 『ディープ・アクティブラーニング』勁草書房，全 274 頁.

（分担執筆）

- ・松下佳代 2014.10 「高等教育研究」日本教育方法学会編『教育方法学研究ハンドブック』学文社，228-233 頁.
- ・松下佳代 2015.1 「ディープ・アクティブラーニングへの誘い」松下佳代・京都大学高等教育研究開発推進セン

ター (編) 『ディープ・アクティブラーニング』 勁草書房, 1-27 頁.

- ・ 田口真奈・松下佳代 2015.1 「コンセプトマップを使った深い学習—哲学系入門科目での試み—」 松下佳代・京都大学高等教育研究開発推進センター (編) 『ディープ・アクティブラーニング』 勁草書房, 165-187 頁.
- ・ 小野和宏・松下佳代 2015.1 「教室と現場をつなぐ PBL—学習としての評価を中心に—」 松下佳代・京都大学高等教育研究開発推進センター (編) 『ディープ・アクティブラーニング』 勁草書房, 215-240 頁.
- ・ 松下佳代 2015.3 「教育の目標と評価」 木村元編 『系統看護学講座 教育学』 医学書院, 136-150 頁.

【論文】

- ・ 小野和宏・松下佳代・斎藤有吾 2014.5 「PBL における問題解決能力の直接評価—改良版トリプルジャンプの試み—」 『大学教育学会誌』 第 36 巻第 1 号, 123-132 頁.
- ・ 松下佳代 2014.5 「共通教育における学習成果の直接評価—研究目的・研究計画・進捗状況について—」 『大学教育学会誌』 第 36 巻第 1 号, 62-66 頁.
- ・ 松下佳代 2014.6 「PISA リテラシーを飼いならす—グローバルな機能的リテラシーとナショナルな教育内容—」 『教育学研究』 第 81 巻第 2 号, 14-27 頁.
- ・ 松下佳代 2014.8 「大学から仕事への移行と大学教育—〈構造—エイジェンシー〉という観点から—」 『現代社会と大学評価 (大学評価学会年報) —大学経営/若者のキャリア教育—』 第 9・10 合併号, 128-142 頁.
- ・ 松下佳代 2014.11 「大学における学習成果としての能力とその評価—標準化をめぐる—」 『教育目標・評価学会紀要』 第 24 号, 1-8 頁.
- ・ 松下佳代・小野和弘・斎藤有吾・白川優治 2014.11 「学士課程教育における共通教育の質保証—直接評価と間接評価の開発と統合について—」 『大学教育学会誌』 第 36 巻第 2 号, 17-21 頁.
- ・ 松下佳代 2015.3 「資質・能力の育成と評価—初等中等教育と高等教育をどうつなぐか—」 『指導と評価』 第 61 巻第 3 号 (通巻 723 号), 35-37 頁.

【その他の著作物】

(報告書)

- ・ 松下佳代 2015.3 「『学習成果』の設定と評価—パフォーマンス評価を中心に—」 立教大学大学教育開発・支援センター 『大学教育開発研究シリーズ No. 22 「学習成果」の設定と評価—アカデミック・スキルの育成を手がかりに—』 19-56, 85-93 頁.
- ・ 田口真奈・田中一孝・松下佳代 2015.3 「文学研究科プレ FD プロジェクト」 『京都大学高等教育叢書 34 相互研修型 FD 拠点活動報告 2014』 18-27 頁.
- ・ 田中一孝・松下佳代 2015.3 「大学院生のための教育実践講座 2014—大学でどう教えるか—」 同上, 28-41 頁.
- ・ 田中一孝・田口真奈・松下佳代 2015.3 「学生に届く声—授業におけるコミュニケーションスキルのためのワークショップ—」 同上, 82-86 頁.
- ・ 松下佳代・田口真奈・田中一孝 2015.3 「新任教員教育セミナー」 同上, 87-104 頁.
- ・ 松下佳代・佐金武 2015.3 「FD 連携企画ワーキンググループ」 同上, 163-167 頁.
- ・ 田中一孝・松下佳代 2015.3 「学位プログラムをどうデザインするか?—歴史学分野におけるチューニングの事例から—」 同上, 267-269 頁.
- ・ 田中一孝・松下佳代・飯吉透・岡本雅子 2015.3 「学習のための, 学習としての評価—PBL と MOOC における学習評価の可能性—」 同上, 272-274 頁.
- ・ 蔣妍・松下佳代 2015.3 「北京師範大学における授業デザインワークショップ」 同上, 311-315 頁.

(辞書)

- ・ 松下佳代 2014.9 「質的評価の方法」 下山晴彦 (編集代表) 『誠信 心理学事典 新版』, 552-554 頁.

(翻訳)

- ・ エリザベス・F・バークレー (松下佳代訳) 2015.1 「関与の条件—大学授業への学生の関与を理解し促すということ—」 松下佳代・京都大学高等教育研究開発推進センター (編) 『ディープ・アクティブラーニング』 勁草書房, 58-91 頁.

- ・フェレンス・マルトン (松下佳代訳) 2015.1 「学習の教授学理論に向けて」松下佳代・京都大学高等教育研究開発推進センター (編)『ディープ・アクティブラーニング』勁草書房, 92-112 頁.
- ・エリック・マズール (松下佳代訳) 2015.1 「理解か, 暗記か?—私たちは正しいことを教えているのか—」松下佳代・京都大学高等教育研究開発推進センター (編)『ディープ・アクティブラーニング』勁草書房, 143-164 頁.
(書評)
- ・松下佳代 2014.10 「展望らいぶらりい」(P.グリフィン・B.マクゴー・E.ケア編著, 三宅なほみ監訳『21世紀型スキル—学びと評価の新たなかたち—』北大路書房, 2014年)『教育展望』第60巻第9号, 55頁.
(その他)
- ・Kayo Matsushita 2014.6 Competences for life. *Kyoto University Research Activities*, Vol. 4, No. 1, 11.
- ・松下佳代 2015.3 「能力形成をめぐる高大での教育改革の動向」京都大学大学院教育学研究科教育実践コラボレーション・センター『E. FORUM 教育研究セミナー成果報告書』60-68頁.

【学会発表】

- ・松下佳代 2014.5.31 「直接指標と間接指標の相関に関する米国での研究」大学教育学会第36回大会(ラウンドテーブル「学士課程教育における共通教育の質保証—直接評価と間接評価の開発と統合について—」), 名古屋大学.
- ・Ono, K., Yamamura, K., Ishikawa, Y., Uoshima, K., Maeda, T., Saito, Y., & Matsushita, K. 2014.8.28 Prospects for direct assessment of problem solving competence: Development of modified triple jump in problem-based learning. 40th ADEE Annual Meeting, Riga, Latvia.
- ・松下佳代 2014.10.12 「大学教育のグローバル化と教育方法学」日本教育学会第50回大会(課題研究「教育のグローバル化の中の教育方法学」), 広島大学.
- ・松下佳代 2014.11.9 「指定討論」日本教育心理学会 第56回総会(自主企画シンポジウム「21世紀型スキルとキー・コンピテンシー—いかに文脈的アプローチを実現するか—」), 神戸国際会議場.
- ・平山朋子・松下佳代・西村敦・新保健次・杉本明文・何川渉 2015.3.13 「実践と思考の熟達化過程—理学療法版『考える OSCE-R』での学生の臨床推論の可視化—」第21回大学教育研究フォーラム, 京都大学.
- ・松下佳代・畑野快・斎藤有吾・浅井健介・河合道雄・周静・田中正之・丁愛美・Nikan Sadehvandi・蒲雲菲・星野俊樹・松井桃子・長沼祥太郎 2015.3.14 「ループリックの意義と課題—ループリックの批判的検討をふまえて—」第21回大学教育研究フォーラム, 京都大学.
- ・周静・松下佳代 2015.3.14 「日本語コミュニケーション能力の養成に対するジグソー法の有効性—中国の大学の『精読』科目における実践を通じて—」第21回大学教育研究フォーラム, 京都大学.
- ・松下佳代 2015.3.14 「ディープ・アクティブラーニングの提案」第21回大学教育研究フォーラム(参加者企画セッション「ディープ・アクティブラーニング—反転授業とリーダーシップ教育を事例として—」), 京都大学.

2. 教育活動

【学内】

①教養・共通教育

- ・「教育学基礎ゼミナールⅢ」(後期)

③大学院教育

- ・「高等教育開発論研究A・B」(教育学研究科, 前・後期)
- ・「高等教育方法演習A・B」(教育学研究科, 前・後期)
- ・「高等教育開発論基礎」(教育学研究科, 前期)
- ・研究科横断型教育プログラム「大学で教えるということ」(教育学研究科, 後期)
- ・総合生存学館研究指導委託教員
- ・情報学研究科社会情報学専攻博士課程アドバイザー

【学外】

- ・立命館大学 大学行政研究・研修センター「大学行政論」(前期1コマ)

3. その他の活動

【学内委員】

- ・ 京都大学点検・評価実行委員会委員
- ・ センター自己点検評価委員会委員
- ・ 京都大学男女共同参画推進センター ワーキンググループ事業推進員
- ・ FD 研究検討委員会委員
- ・ 白眉センター専門委員会委員
- ・ 吉田南総合図書館運営委員会委員
- ・ 吉田南総合図書館協議会協議員
- ・ 吉田南構内交通委員会委員

【社会活動】

- ・ 日本教育学会理事
- ・ 日本教育方法学会理事
- ・ 日本カリキュラム学会理事，事務局長（2014年9月～）
- ・ 教育目標・評価学会理事
- ・ 大学教育学会理事，学会誌常任編集委員
- ・ 山梨学院大学附属小学校学習カリキュラムセンター客員研究員
- ・ 大阪府教育センター高等学校における多様な学習成果の評価手法に関する調査研究に係る評価手法検討会委員
- ・ 大学教育再生加速プログラム委員会ペーパーレフェリー
- ・ 日本学術会議連携会員（2014年10月～）
- ・ 山口大学大学教育再生加速プログラム（AP事業）アドバイザー（2014年11月～）

【講演】

- ・ 松下佳代 2014.5.21 「学士課程教育における〈新しい能力〉」北京師範大学授業デザインワークショップ，北京師範大学.
- ・ 松下佳代 2014.5.21 「大学授業をデザインする—その考え方と方法—」北京師範大学授業デザインワークショップ，北京師範大学.
- ・ 松下佳代 2014.7.1 「大学教育における学習評価の構図—パフォーマンス評価を中心に—」玉川大学 FD 研修会.
- ・ 松下佳代 2014.7.15 「パフォーマンス評価による学習の質の評価」第26回医学教育指導者フォーラム，東京慈恵会医科大学.
- ・ 松下佳代 2014.8.2 「いま求められる能力とその評価」高校教育フォーラム2014，京都大学.
- ・ 松下佳代 2014.9.22 「ルーブリックを使った評価—どんな学習成果をどのように評価するか—」近畿大学法学部 FD 研修会，近畿大学.
- ・ 松下佳代 2014.10.17 「大学における学習成果の評価を理解する—パフォーマンス評価とルーブリックを中心に—」琉球大学 FD 講演会，琉球大学.
- ・ 松下佳代 2014.10.23 「『学習成果』の設定と評価—パフォーマンス評価・ルーブリックに焦点を当てて—」立教大学教育開発・支援センター主催シンポジウム，立教大学.
- ・ 松下佳代 2014.11.13 「授業を支える知識観・学習観を問い直す—ディープ・アクティブラーニングの提案—」兵庫教育大学アクティブ・ラーニング研究会，兵庫教育大学.
- ・ 松下佳代 2014.11.27 「〈新しい能力〉とその評価—パフォーマンス評価を中心に—」大阪成蹊短期大学 FD 研修会，大阪成蹊短期大学.
- ・ 松下佳代 2014.12.3 「ルーブリックを用いたパフォーマンス評価の考え方と方法—PBLを中心に—」就実大学反転授業研究会第2回勉強会（講演会），就実大学.
- ・ 松下佳代 2014.12.23 「能力形成をめぐる高大での教育改革の動向」E. FORUM 教育研究セミナーⅡ 高大におけるカリキュラム改革を考える—探究力育成の視点から—，京都大学.

- ・松下佳代 2015.1.21 「ディープ・アクティブラーニングの考え方と方法」広島大学大学院総合科学研究科 FD 研修会, 広島大学.
- ・松下佳代 2015.2.22 「学生に求められる能力とその評価」AP 採択記念 創価大学 FD フォーラム, 創価大学.
- ・松下佳代 2015.2.26 「〈新しい能力〉とその形成・評価をめぐる」福岡県立大学 FD セミナー, 福岡県立大学.
- ・松下佳代 2015.2.27 「ループリックの開発・活用の課題にどう応えていくか—コメントとアドバイジング—」山口大学ループリック事例報告ワークショップ, 山口大学.
- ・松下佳代 2015.3.9 「アクティブ・ラーニングにおけるパフォーマンス評価の可能性」YU-AP キックオフシンポジウム, 山口グランドホテル.

溝上 慎一 (教授)

1. 研究業績

【著書】

- ・溝上慎一 2014.9 『アクティブラーニングと教授学習パラダイムの転換』東信堂
- ・溝上慎一 2015.1 「アクティブラーニング論から見たディープ・アクティブラーニング」松下佳代・京都大学高等教育研究開発推進センター (編) 『ディープ・アクティブラーニング—大学授業を深化させるために—』勁草書房, 31-51 頁.

【論文】

- ・溝上慎一 2014.5 「大学生の学習に関する時間的展望—学生の学習とキャリア形成の関係構造—」『大学教育学会誌』第 36 巻第 1 号, 133-142 頁.
- ・蔣妍・溝上慎一 2014.11 「学生の学習アプローチに影響を及ぼすピア・インストラクション—学生の授業外学習時間に着目して—」『日本教育工学雑誌』第 38 巻第 2 号, 91-100 頁.
- ・畑野快・杉村和美・中間玲子・溝上慎一・都筑学 2014.12 「エリクソン心理社会的段階目録 (第 5 段階) 12 項目版の作成」『心理学研究』第 85 巻第 5 号, 482-487 頁.
- ・高橋哲也・星野聡孝・溝上慎一 2014.12 「学生調査と e ポートフォリオならびに成績情報の分布について—大阪府立大学の教学 IR 実践から—」『京都大学高等教育研究』第 20 号, 1-15 頁.
- ・中間玲子・杉村和美・畑野快・溝上慎一・都筑学 2015.2 「多次元アイデンティティ発達尺度 (DIDS) によるアイデンティティ発達の検討と類型化の試み」『心理学研究』第 85 巻第 6 号, 549-559 頁.
- ・溝上慎一 2015.3 「キャリア教育が今なぜ、どのように必要か?」『進路指導』(日本進路指導協会), 第 88 巻第 1 号, 3-12 頁.

【学会発表】

- ・Nakama, R., & Mizokami, S. 2014.8.20 A study on how adolescents create their own I-positions detaching parents' values. Poster presented at the 8th International Conference on the detaching parents' values. Poster presented at the 8th International Conference on the Dialogical Self., The Netherlands: The Hague University
- ・Sugimura, K., Nakama, R., Mizokami, S., Hatano, K., & Tsuzuki, M. 2014.9.6 Working together or separately?: The role of identity and cultural self-construal in well-being among Japanese youth. Paper presented at the 14th Biennial Conference of the European Association for Research on Adolescence., Izmir: Turkey
- ・森朋子・本田周二・溝上慎一・山内祐平 2014.9.21 「アクティブラーニングとしての大学における反転授業—『わかった』を引き出す授業を創るには—」日本教育工学会第 30 回全国大会, 岐阜大学
- ・森朋子・宗村広昭・本田周二・溝上慎一 2014.11.7 「大学における反転授業の実証的研究—アクティブラーニングの観点から—」日本教育心理学会第 56 回総会, 神戸大学
- ・溝上慎一 2014.11.7 指定討論 富田英司・田島充士自主シンポジウム企画「越境の説明をはぐくむ大学教育のための心理学」日本教育心理学会第 56 回総会, 神戸大学
- ・溝上慎一 2014.11.9 「自分がわかるとは」大会準備委員会企画シンポジウム「わかるとは」日本教育心理学会第 56 回総会, 神戸大学

- ・ 本田周二・森朋子・溝上慎一 2014.11.9 「大学生を対象とした反転授業の効果検証に関する研究」日本教育心理学会第56回総会, 神戸大学
- ・ 酒井淳平・田中正之・溝上慎一 2014.11.23 「キャリア教育授業を評価するルーブリック作成—生徒の働く意識を評価する—」日本キャリア教育学会第36回研究大会, 琉球大学
- ・ 本田周二・三保紀裕・森朋子・溝上慎一 2015.2.24 「反転学習における効果測定尺度作成に向けた試み」関西大学反転学習シンポジウム・ポスターセッション, 関西大学
- ・ 森朋子・本多周二・溝上慎一・山内祐平 2015.2.24 「反転授業が引き出すディープ・アクティブラーニングとは」関西大学反転学習シンポジウム・ポスターセッション, 関西大学
- ・ 本田周二・森朋子・溝上慎一 2015.3.13 「反転学習の効果検証に関する実証的研究—大学生を対象として—」第21回大学教育研究フォーラム, 京都大学

2. 教育活動

【学内】

①全学共通教育

- ・「自己形成の心理学」(前期)
- ・「心理学概論B」(後期)

② KUINEP

- ・「Universities and University Students in Today's Japan」(前期)
- ・「Self-Formation in Adolescence」(後期)

③大学院教育

- ・「高等教育開発論研究A・B」(教育学研究科, 前・後期)
- ・「高等教育開発論基礎」(教育学研究科, 前期)

3. その他の活動

【学内委員】

- ・ FD 研究検討委員会 ワーキンググループ1メンバー
- ・ FD 研究検討委員会
- ・ 2014年度新入生特別セミナー「キャリア教育」担当
- ・ 大学評価委員会

【社会活動】

- ・ 日本青年心理学会常任理事
- ・ 大学教育学会常任理事
- ・ 大学教育学会『大学教育学会誌』編集委員
- ・ 日本青年心理学会『青年心理学研究』編集委員
- ・ International Conference on the Dialogical Self, Scientific Committee 委員
- ・ Journal of Adolescence, Editorial Board 委員
- ・ 電通育英会大学生調査プロジェクトアドバイザー
- ・ 大阪府立大学高等教育推進センター IR 顧問
- ・ 京都市立西京高等学校 SGH アソシエイト運営指導委員
- ・ 北海道スーパーサイエンスハイスクール運営指導委員会委員
- ・ 文部科学省大学改革推進補助事業「大学教育再生加速プログラム委員会」ペーパーレフェリー
- ・ 産業能率大学 AP 実行委員会外部委員

【講演】

- ・ 溝上慎一 2014.5.17 「アクティブラーニングの観点から見た反転授業」関西地区 FD 連絡協議会総会・分科会 3

講師

- ・溝上慎一 2014.5.24 「大学・社会で学び続けるためのアクティブラーニングとは」大阪府第6回槻の木 MANABI カフェ講演
- ・溝上慎一 2014.6.7 「データ収集とエビデンスベースの教育改善」河合塾 PROG セミナー 2014 大阪会場
- ・溝上慎一 2014.6.13 「学校から仕事へのトランジションとアクティブラーニング」愛知県公立普通科高等学校長会総会講演
- ・溝上慎一 2014.7.4 「協同学習—アクティブラーニング—」全国教育コミュニケーション研究大会特別講演
- ・溝上慎一 2014.7.23 「今、なぜアクティブラーニングなのか」コクヨファニチャーセミナー「学習環境の変化とアクティブラーニング」講演
- ・溝上慎一 2014.7.25 「学校から仕事へのトランジションとアクティブラーニング」平成26年度福岡県教育センター福岡教師塾講演
- ・溝上慎一 2014.8.8 「高校教育の質の向上に向けて—トランジション調査報告—」産業能率大学第8回キャリア教育推進フォーラム講演
- ・溝上慎一 2014.8.24 「高校教育の質の向上に向けて—トランジション調査報告—」産業能率大学授業力向上フォーラム (名古屋開催)
- ・溝上慎一 2014.8.25 「仕事・社会へのトランジションと変わる学校 (高校・大学) の学び」神奈川県立港北高等学校公開研修会講演
- ・溝上慎一 2014.8.28 「トランジションを見据えた高校・大学教育改革」京都大学・河合塾「学校と社会をつなぐ調査」分析結果報告&シンポジウム講演, 大阪府庁新別館南館
- ・溝上慎一 2014.9.7 「現代の学生気質について」神奈川県理学療法士会臨床実習教育部研修会講師
- ・溝上慎一 2014.9.26 「トランジションを見据えた高校・大学教育改革」京都大学・河合塾「学校と社会をつなぐ調査」分析結果報告&シンポジウム講演, TKP 市ヶ谷カンファレンスセンター
- ・溝上慎一 2014.10.3 「学校と社会をつなぐ調査 (トランジション調査) 分析結果報告会」京都市立高等学校校長会・京都市教育委員会講演
- ・溝上慎一 2014.10.14 「大学・社会につながるアクティブラーニング」第5回私学マネジメント定例セミナー講師
- ・溝上慎一 2014.10.24 「深い学びのための授業づくり」日本協同教育学会・創価大学学士課程教育機構 FD セミナー共催講演
- ・溝上慎一 2014.10.30 「アクティブラーニングとピアインストラクション」日本赤十字看護大学講演
- ・溝上慎一 2014.11.11 「教育に求められている変容—若者を育てるアクティブラーニング—」日本文理大学チャレンジ OITA 人材育成フォーラム 2014 基調講演
- ・溝上慎一 2014.11.13 「アクティブラーニングと教授学習パラダイムの転換」河合塾「学習者中心の学び」勉強会講演
- ・溝上慎一 2014.12.2 「エビデンスに基づく学士課程教育の改革—学域制の検証に向けて—」大阪府立大学教育シンポジウム基調講演
- ・溝上慎一 2014.12.8 「変わる大学・高校の学びとアクティブラーニング」大阪府立四条畷高等学校講演
- ・溝上慎一 2014.12.12 「大人数講義でのアクティブラーニングの可能性」山口大学アクティブラーニングセミナー基調講演
- ・溝上慎一 2014.12.19 「アクティブラーニング」産業能率大学研修講演
- ・溝上慎一 2014.12.23 「社会につながる学びとは—高校での学びや意識づけがポイント—」大阪府第5回「ひとみの会」(高等学校女性管理職の会) 講演
- ・溝上慎一 2014.12.25 「社会につながる学びとしてのアクティブラーニング」桐蔭学園講演
- ・溝上慎一 2015.1.23 「アクティブラーニングの理解と実践」青森中央短期大学・青森中央学院大学合同 FD 研究会講演
- ・溝上慎一 2015.2.12 「授業外学習の捉え方とその意義」山梨県立大学全学 FD 研究会講演

- ・溝上慎一 2015.2.14 「アクティブラーニングと教授学習パラダイムの転換」日本教育学会 2014 年度関東地区公開シンポジウム基調講演
- ・溝上慎一 2015.2.20 「質を伴った主体的な学習を促す学士課程教育の質的転換」奈良県大学連合 FD・SD 教職員研修会・帝塚山大学 FD フォーラム講演
- ・溝上慎一 2015.2.23 「社会につながる学びとしてのアクティブラーニング」広島県立湯来南高等学校講演
- ・溝上慎一 2015.2.24 「アクティブラーニングとしての反転学習」関西大学主催シンポジウム「反転学習はディープ・アクティブラーニングを促すか」講演
- ・溝上慎一 2015.2.27 「社会に繋がる学びとしてのアクティブラーニング」久留米大学 FD・SD 研修会講演
- ・溝上慎一 2015.2.28 「学修支援なのか，学習支援なのか？—単位制とトランジションをどう折り合わせるか—」大学コンソーシアム京都主催第 20 回 FD フォーラム・シンポジウム報告者
- ・溝上慎一 2015.3.4 「なぜアクティブラーニングか，アクティブラーニングを通して何をを目指すのか」金沢大学大学院教育再生加速プログラム第 2 回アクティブ・ラーニング FD 研修会講演
- ・溝上慎一 2015.3.5 「今なぜアクティブラーニングか」神戸大学大学院教育推進機構講演
- ・溝上慎一 2015.3.10 「アクティブラーニング導入に向けて—概念とその実践例—」佐久大学 FD 講演会
- ・溝上慎一 2015.3.23 「力強く生きる大人になることを目指して—高校生・大学生のあいだにしておくこと—」三重県立津高等学校進路講演会
- ・溝上慎一 2015.3.26 「なぜ，今，アクティブラーニングか」徳山大学アクティブ・ラーニング研究所主催勉強会講演
- ・溝上慎一 2015.3.28 「子どものアクティブラーニングを支える家庭の教育・役割」京都大学オープンカレッジ in 東京講演

【その他】

(新聞・雑誌)

- ・溝上慎一 2014.4.10 「アクティブラーニングの変遷と今後の在り方」『CHleru Catalogue』2014 Spring/Summer, チェル株式会社
- ・溝上慎一 2014.4.10 「金大新体制始動—外部から見えるモデル提示必要—」『北陸中日新聞』
- ・溝上慎一 2014.4.19 「キャリア教育の在り方—常に将来見据え行動を—」『京都新聞』
- ・溝上慎一 2014.5.6 「1, 2 年の時から将来見据える」『中日新聞』
- ・溝上慎一 2014.6 「文系学問の高大連携：研究者モデルでの挑戦が知的好奇心を喚起する—日本発達心理学会第 25 回大会—」『学研・進学情報』2014 年 6 月号
- ・溝上慎一 2014.6.11 「大学の教育力上：グループ議論 学生刺激」『読売新聞』
- ・溝上慎一 2014.7.20 「納得の就職目指し留年」『読売新聞』
- ・溝上慎一 2014.8.17 「どうしたら身につく？社会に出ても通用する力（スキル）」『朝日新聞』
- ・溝上慎一 2014.10.8 「キャリア意識は勉学と関連—京都大と河合塾 学校と社会をつなぐ調査」『教育学術新聞』
- ・溝上慎一 2014.11 「特集：高校教育フォーラム 2014—社会の変化を見据え，どうキャリア教育を進めるか？」『学研・進学情報』2014 年 11 月号
- ・溝上慎一 2014.11.22 「自ら問う力磨け—大学教員ソフト面も変化」『京都新聞』
- ・溝上慎一 2014.11.23 「岡山大 1 コマ 60 分で授業時間増—自ら学ぶ工夫充実を」『読売新聞』
- ・溝上慎一 2015.1.20 「アクティブラーニング 6 つの誤解」電通育英会『IKUEI NEWS』Vol. 69
- ・溝上慎一 2015.2.7 「アクティブ・ラーニング—話して動いて，学び充実」『読売新聞』

田口 真奈 (准教授)

1. 研究業績

【著書】

- ・田口真奈・松下佳代 2015.1 「コンセプトマップを使った深い学習—哲学系入門科目での試み—」松下佳代・京

都大学高等教育研究開発推進センター編著『ディープ・アクティブラーニング』勁草書房, 165-187頁.

【論文】

- ・田中一孝・畑野快・田口真奈 2014.12 「プレ FD を通じた大学教員になるための意識の変化と能力の獲得—京都大学文学研究科プレ FD プロジェクトを対象に—」『京都大学高等教育研究』第 20 号, 81-88 頁.
- ・田口真奈 2015.3 「コースポートフォリオの今後の可能性」『看護教育』第 56 巻第 3 号, 230-235 頁. (査読なし)

【その他著作物】

- ・田口真奈 2014.11 「連載：研究者になる！—第 51 回—」『京都大学男女共同参画推進センターニュースレター たちばな』第 60 号, 4 頁.

(報告書)

- ・田口真奈・田中一孝・松下佳代 2015.3 「文学研究科プレ FD プロジェクト」『京都大学高等教育叢書 34 相互研修型 FD 拠点活動報告 2014』18-27 頁.
- ・田口真奈 2015.3 「FD 共同実施ワーキンググループ」同上, 154-162 頁.
- ・酒井博之・飯吉透・田口真奈 2015.3 「MOST」同上, 185-189 頁.
- ・田口真奈・飯吉透 2015.3 「FD ネットワーク代表者会議 (JFDN)」同上, 231-265 頁.

【学会発表】

- ・畑野快・田中一孝・田口真奈 2014.6.1 「Pre Future Faculty Program (PFFP) を通じたファカルティになるための意識の変化と能力の獲得：京都大学文学研究科プレ FD プロジェクトを対象に」大学教育学会第 36 回大会, 名古屋大学
- ・田口真奈・田中一孝・畑野快 2014.6.29 「段階別にみたプレ FD の特徴とその目的」日本高等教育学会第 17 回大会, 大阪大学・豊中キャンパス
- ・辻靖彦・稲葉利江子・酒井博之・田口真奈・飯吉透 2014.9.19 「日本の高等教育機関におけるモバイル活用先進校の特徴—ICT 活用教育の推進に関する悉皆調査を基に」日本教育工学会第 30 回全国大会, 岐阜大学
- ・酒井博之・田口真奈 2014.9.19 「カリキュラム改善に向けたコースポートフォリオ実践プログラムの適用」日本教育工学会第 30 回全国大会, 岐阜大学
- ・重田勝介・中澤明子・田口真奈・松河秀哉 2014.9.19 「大学院生を対象とした反転授業研修プログラムの開発」日本教育工学会第 30 回全国大会, 岐阜大学

2. 教育活動

【学内】

③大学院教育

- ・「高等教育開発論研究 A・B」(教育学研究科, 前・後期)
- ・「高等教育文献講読演習 A」(教育学研究科, 前期)
- ・「高等教育開発論基礎」(教育学研究科, 前期)
- ・研究科横断型プログラム「大学で教えるということ」(教育学研究科・後期)

3. その他活動

【学内委員】

- ・京都大学教育学研究科・教務委員

【学外委員】

- ・大学間連携共同教育推進事業評価委員会 専門委員 (2015.1.23 ~ 2015.3.31)
- ・日本教育工学会 編集委員
- ・日本教育工学会 評議員

酒井 博之 (准教授)

1. 研究業績

【論文】

- ・酒井博之 2015.3 「コースポートフォリオとは—その概要とねらい—」『看護教育』第56巻第3号, 212-219頁.
(査読なし)

【その他の著作物】

(報告書)

- ・酒井博之 2014.6 関西地区FD連絡協議会第7回総会「FD活動報告会2014」, 関西地区FD連絡協議会広報ワーキンググループ編 (編集責任者) (PDF版)
- ・酒井博之 2015.3 「反転授業により学生の能動的な学びへの転換をはかる」(第5分科会, コーディネーター) 第20回FDフォーラム報告集, 大学コンソーシアム京都, 171-192頁.
- ・酒井博之 2015.3 平成26年度文部科学省先導的の大学改革推進委託事業「MOOC等を活用した教育改善に関する調査研究」委託業務成果報告書, 大学ICT推進協議会 (共同執筆)
- ・酒井博之 2015.3 「第10回工学部教育シンポジウム」『京都大学高等教育叢書34 相互研修型FD拠点活動報告2014』105-111頁.
- ・酒井博之 2015.3 「FD活動の報告会2014」同上, 149-153頁.
- ・酒井博之・田中一孝 2015.3 「広報ワーキンググループ」同上, 168-171頁.
- ・酒井博之・飯吉透・田口真奈 2015.3 「MOST」同上, 185-194頁.

(その他)

- ・田畑典子・酒井博之 2015.3 「コースポートフォリオを共有し, 看護教育現場をオープンにしよう」『看護教育』第56巻第3号, 236-242頁.

【学会発表】

- ・酒井博之・田口真奈 2014.9 「カリキュラム改善に向けたコースポートフォリオ実践プログラムの適用」日本教育工学会第30回全国大会講演論文集, 259-260頁, 岐阜大学
- ・辻靖彦・稲葉利江子・酒井博之・田口真奈・飯吉透 2014.9 「日本の高等教育機関におけるモバイル活用先進校の特徴—ICT活用教育の推進に関する悉皆調査を基に—」日本教育工学会第30回全国大会講演論文集, 69-70頁, 岐阜大学
- ・酒井博之 2014.12 「高等教育機関等におけるICT利活用の現状と展望—H25年度調査から見えること」(企画セッション, 調査報告), 大学ICT推進協議会年次大会, AERビル
- ・酒井博之 2014.12 「大学におけるMOOC等を活用した教育改善方法」(企画セッション, 報告), 大学ICT推進協議会年次大会, AERビル
- ・酒井博之・飯吉透 2015.2.20 「ICT利用による教授学習の改善とエビデンスデータに基づいた教育改革の推進」, 「教育におけるビッグデータ・学習資源共有流通基盤」研究会, JMOOC学習ログ・ポートフォリオ部会, 大学ICT推進協議会学術・教育コンテンツ共有流通部会 (AXIES-csd), 情報処理学会CLE研究会 (共催), 一橋大学一橋講堂
- ・辻靖彦・稲葉利江子・酒井博之・重田勝介・田口真奈・飯吉透 2015.2.28 「日本国内の大学における授業内外のICTツールの利用傾向」日本教育工学会研究報告集, 127-130頁, 九州大学
- ・稲葉利江子・重田勝介・辻靖彦・田口真奈・酒井博之・飯吉透 2015.2.28 「ICT活用教育の効果に関する一考察—ICT活用教育の推進に関する悉皆調査を基に—」日本教育工学会研究報告集, 463-468頁, 九州大学

2. 教育活動

【学内】

①全学共通教育

- ・「音響心理学概論」(前期)

②大学院教育

- ・「高等教育開発論研究 A・B」(教育学研究科, 前・後期, 共同)
- ・「高等教育開発論基礎」(教育学研究科, 前期, リレー講義)
- ・「高等教育文献講読演習 B」(教育学研究科, 後期)

3. その他の活動

【学内委員】

- ・FD 研究検討委員会 (WG 1 メンバー)

【社会活動】

- ・平成 26 年度文部科学省先導的の大学改革推進委託事業「MOOC 等を活用した教育改善に関する調査研究」調査・分析等チーム (2014.11.19~2015.3.31)
- ・大学コンソーシアム京都 FD フォーラム企画検討委員 (2014.5.21 ~ 2015.3.31)

【講演】

- ・酒井博之 2014.7.4 「全国調査からみる日本の高等教育における将来展望と課題—ICT 活用と教育のオープン化を中心に—」(manaba セミナー, パネルディスカッション: 「ICT 利用によって革新する日本の大学教育: その課題と可能性を探る」), 経団連会館カンファレンス
- ・酒井博之 2014.11.28 「ICT 利用による授業改善と教育のオープン化」工学部教育シンポジウム, 京都大学桂キャンパス

田中 一孝 (特定助教)

1. 研究業績

【著書】

- ・田中一孝 2015.3 『プラトンとミーメーシス』京都大学学術出版会

【論文】

- ・田中一孝・畑野快・田口真奈 2014.12 「プレ FD を通じた大学教員になるための意識の変化と能力の獲得—京都大学文学研究科プレ FD プロジェクトを対象に—」『京都大学高等教育研究』第 20 号, 81-88 頁.

【その他の著作物】

(報告書)

- ・田口真奈・田中一孝・松下佳代 2015.3 「文学研究科プレ FD プロジェクト」『京都大学高等教育叢書 34 相互研修型 FD 拠点活動報告 2014』18-27 頁.
- ・田中一孝・松下佳代 2015.3 「大学院生のための教育実践講座—大学でどう教えるか—」同上, 28-41 頁.
- ・田中一孝・田口真奈・松下佳代 2015.3 「新任教員教育セミナー・プレワークショップ『学生に届く声—授業におけるコミュニケーションスキルのためのワークショップ—』」同上, 82-86 頁.
- ・田口真奈・松下佳代・田中一孝 2015.3 「新任教員教育セミナー」同上, 87-104 頁.
- ・酒井博之・田中一孝 2015.3 「関西地区 FD 連絡協議会: FD 広報ワーキンググループ活動報告書」同上, 167-171 頁.
- ・田中一孝・松下佳代 2015.3 「学位プログラムをどうデザインするか?—歴史学分野におけるチューニングの事例から—」同上, 267-269 頁.
- ・田中一孝・松下佳代・飯吉透・岡本雅子 2015.3 「学習のための, 学習としての評価—PBL と MOOC における学習評価の可能性—」同上, 272-274 頁.
- ・岡本雅子・飯吉透・田中一孝 2015.3 「MOOC 時代における大学教育改善」同上, 304-306 頁.

【学会発表】

- ・畑野快・田中一孝・田口真奈 2014.6 「PFFP を通じたファカルティになるための意識の変化と能力の向上」大学教育学会第 35 回大会, 東北大学
- ・田口真奈, 田中一孝, 畑野快 2014.6 「段階別にみたプレ FD の特徴とその目的」日本高等教育学会第 17 回大会,

大阪大学

- ・田中一孝 2014.10 「プラトン『ティマイオス』篇における模倣概念の再検討」美学会第65回全国大会, 東京藝術大学
- ・Tanaka, I. 2015.3 The Methodology of Praising Eros: the Dialogical Structure in Plato's Symposium, A New Perspective on Plato and his Philosophical Methods, Kyoto University.

2. 教育活動

【学内】

③大学院教育

- ・「高等教育開発論研究 A・B」(教育学研究科, 前・後期)
- ・「高等教育開発論基礎」(教育学研究科, 前期)
- ・研究科横断型教育プログラム「大学で教えるということ」(教育学研究科, 後期)

岡本 雅子 (特定助教) (2014 年 12 月)

1. 研究業績

【論文】

- ・Masako Okamoto, Masayuki Murakami, Naoto Yoshikawa, Hajime Kita. 2014.10 Development and Assessment of Learning Materials for Computer Programming Focusing on “Visual Manifestation”, Educational Technology Research, No. 37, pp. 51-60.

【その他の著作物】

(報告書)

- ・岡本雅子 2015.3 「関西地区 FD 連絡協議会：活動成果の概要」『京都大学高等教育叢書 34 相互研修型 FD 拠点活動報告 2014』113-148 頁.
- ・岡本雅子・飯吉透・田中一孝 2015.3 「MOOC 時代における大学教育改善」同上, 304-308 頁.
- ・田中一孝・松下佳代・飯吉透・岡本雅子 2015.3 「学習のための、学習としての評価—PBL と MOOC における学習評価の可能性—」同上, 272-303 頁.

2. 教育活動

【学外】

- ・京都外国語大学「情報技術の実践」(前・後期)
- ・京都外国語大学「言語と平和Ⅱ」(後期)
- ・滋賀大学「情報メディアの活用」(集中)